

学校元気アップからのお知らせ

あけましておめでとうございます



1月



令和3年 1月吉日
大阪市立東中学校
学校元気アップ地域本部



1月図書室開館スケジュール

新年を迎え、いつもとは違う引き締まった気持ちで、新たな目標を胸に抱いている人も多くいることでしょう。

コロナ禍の中、簡略化の傾向がある各家庭のお正月の行事を、皆さんはどのように過ごしましたか？

学校でも例年催されている「百人一首大会」が残念ながら中止となりました。平安時代に選歌され、明治のころから競技として楽しまれてきた「百人一首大会」。来年度には再開されることを願っています。

放課後学習会の終了時間は、場合により延長することもできます。
当日元気アップ担当者に相談してください。

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|----------------|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|-----|
| 28 | 29 | 30 | 31 | 01 | 02 | 03 |
| | | | | | | |
| 04 | 05 | 06 | 07 | 08 昼 | 09 | 10 |
| | | | 始業式 | × | | |
| 11 | 12 昼 | 13 昼 | 14 昼 | 15 昼 | 16 | 17 |
| 成人の日 | 放課後 16:30まで | 放課後学習会 16:30まで | 放課後学習会 16:30まで | 放課後学習会 16:30まで | | |
| 18 昼 | 19 短昼 | 20 昼 | 21 昼 | 22 昼 | 23 | 24 |
| 放課後 16:30まで | × | 放課後 16:30まで | 放課後 16:30まで | 放課後 16:30まで | | |
| 25 昼 | 26 昼 | 27 昼 | 28 昼 | 29 昼 | 30 | 31 |
| × | 放課後 16:00まで | 放課後 16:30まで | 放課後 16:30まで | × | | |

図書室よりお知らせ

新しくたくさんの本を入荷しています。人気作家畠中恵（はたけなかめぐみ）の文庫本での「しゃばけシリーズ」。手に取りやすくなった星新一の文庫本シリーズ。画家の生涯や変遷をたどりながら各年代を特徴づける名作をじっくり鑑賞できる、オールカラーの美術書「もっと知りたいシリーズ」。阿刀田高（あとうだたかし）の世界各国の古典を軽妙に読み解いた「●●知っていますか」の三部作など、幅広いジャンルを取り揃えました。

貸し出し期間内で読み終えることができなくて
も手続きをして延長することができます。

是非手に取ってみてください。



ボランティアをして頂ける方は学校までご連絡ください。

学校電話 06-6941-0195（元気アップ担当まで）





畠中 恵（はたけなか めぐみ）

えっ、虚弱な若だんなと妖怪コンビが猟奇事件を解決!? 日本ファンタジーノベル大賞優秀賞受賞作。文庫本の刊行を皮切りに「しゃばけ20周年」フェア! が全国書店で展開されています。

しゃばけシリーズおすすめの読む順番

①しゃばけ②ぬしさまへ③ねこのばば④おまけのこ⑤うそうそ⑥ちんぷんかん⑦いっちばん⑧ころころろ⑨ゆんでめて⑩やなりいなり⑪えどさがし⑫ひなこまち⑬たぶんねこ⑭すえずえ⑮なりたい⑯おおあたり



宗田理（そうだおさむ）「ぼくら」シリーズって？



「読み継がれる」という言葉にぴったりの名作は数々あります。『ぼくらの七日間戦争』もその1つ。1986年の発表以来人気は衰えることなく、名作に付き物の映画化もされてきました。この作品が発表された時代は、バブル初期の経済的にもはじけていた頃。しかし、学校ではいじめによる自殺や体罰など様々な問題が表面化してきた時代でもありました。男子たちが外の女子たちとの連絡に使う手段として使ったのはFM発信機。（今では携帯があれば済むことですね。）そんなゼネレーションギャップはあるものの、

『ぼくら』シリーズが今も昔も子どもに愛される魅力とは...

東京の下町の中学に通う1年2組の面々は、高校・大学・社会人と成長するにつれて、どんどんスケールアップする大騒動を巻き起こしたり巻き込まれたりしていきます。本当にイラッとくるが、いかにもいそうな大人に対して、少年たちの素朴な正義心に基づく「おかしいだろ!」という叫び。世の中で行われる不正に対する義憤を燃やし、即動く。しかし、かといって自分には力もお金もないから、暴力ではなく、いたずらによって大人に一泡吹かせることでその怒りを解消する。そんな『ぼくら』の愛と涙と笑いに満ち溢れた痛快学園コメディです。

「中学生のころ夢中になって読みました。登場人物がシリーズが進むにつれ成長していく様子を同年代として楽しんだ。」と1年国語科・西垣先生からも推薦していただいています。是非、手に取って読んでみてください。

